

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 09-154001

(43)Date of publication of application : 10.06.1997

(51)Int.Cl.

H04N 1/32  
H04M 11/00  
H04N 1/00  
H04N 1/00

(21)Application number : 07-310252

(71)Applicant : MITA IND CO LTD

(22)Date of filing : 29.11.1995

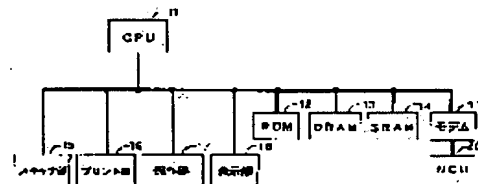
(72)Inventor : SHIBATA KOICHI  
OYAMA SHOICHI  
MATSUO KOICHI  
MORI TOSHIHIRO  
SUGIMOTO TETSUYA

## (54) FACSIMILE EQUIPMENT

### (57)Abstract:

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To protect setting data by inhibiting the operation of an operation part immediately after transmitting the setting data by remote access from a center station and cancelling the inhibition in receiving the new setting data from the center station.

**SOLUTION:** When the access of a remote operation is present from the center station, the setting data inside an SRAM 14 are transmitted to the center station and the operation of the operation part 17 is turned to an inhibition state immediately after the transmission. Then, after a line is tentatively cut off, when the new setting data from the center station are received by the access from the center station again, the inhibition state of the operation of the operation part 17 is cancelled. Thus, during the time after transmitting the setting data by the remote access from the center station until receiving the new setting data from the center station, communication can not be performed and the change and addition, etc., of the setting data of abbreviated dialing and one easy step dialing, etc., may not be performed.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

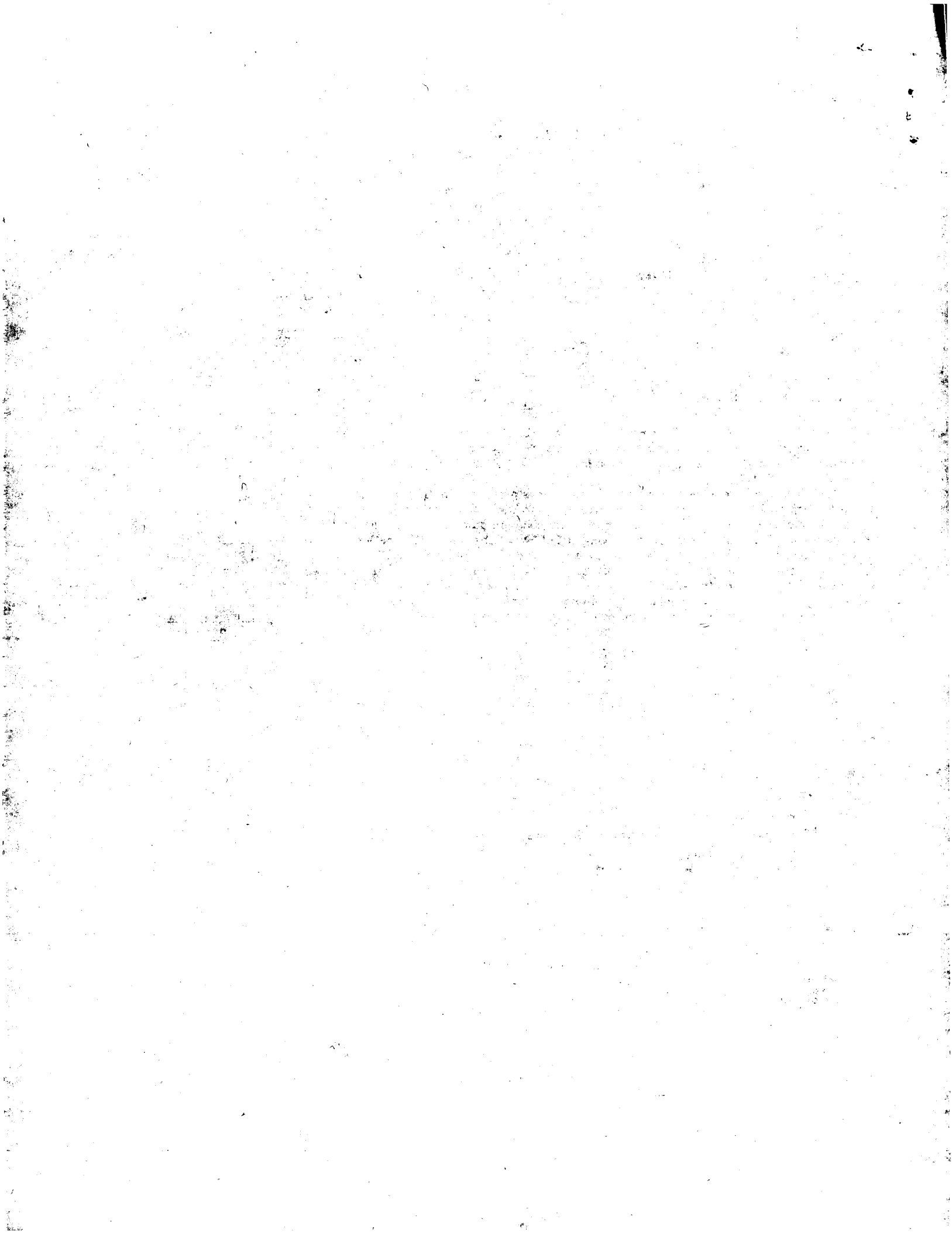
[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平9-154001

(43)公開日 平成9年(1997)6月10日

(51)Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 N 1/32			H 0 4 N 1/32	Z
H 0 4 M 11/00	3 0 1		H 0 4 M 11/00	3 0 1
H 0 4 N 1/00	1 0 6		H 0 4 N 1/00	1 0 6 C
	1 0 7			1 0 7 Z

審査請求 未請求 請求項の数3 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平7-310252

(22)出願日 平成7年(1995)11月29日

(71)出願人 000006150

三田工業株式会社

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

(72)発明者 柴田 浩一

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(72)発明者 大山 昌一

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(72)発明者 松尾 浩一

大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号

三田工業株式会社内

(74)代理人 弁理士 香山 秀幸

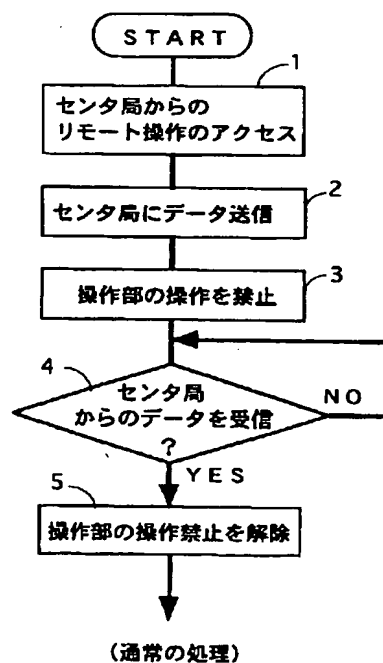
最終頁に続く

(54)【発明の名称】 ファクシミリ装置

(57)【要約】

【課題】 この発明は、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した後、センタ局からの新たな設定データを受信するまでの間に、通信が行なわれたり、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル等の設定データの変更、追加等が行なわれるのを禁止できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

【解決手段】 センタ局1からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部17の操作を禁止状態にさせる手段、およびセンタ局1からの新たな設定データを受信したときに、操作部17の操作の禁止状態を解除させる手段を備えている。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置において、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部の操作を禁止状態にさせる手段、およびセンタ局からの新たな設定データを受信したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段、を備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項2】 センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置において、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部の操作を禁止状態にさせるとともに、所定時間の計時を開始させる手段、センタ局からの新たな設定データを受信する前に、上記所定時間が経過したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段、および上記所定時間が経過する前に、センタ局からの新たな設定データを受信したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段、を備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

【請求項3】 センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置において、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部の操作を禁止状態にさせるとともに、所定時間の計時を開始させる手段、センタ局からの新たな設定データを受信する前に、上記所定時間が経過したときには、センタ局に設定データの送信を要求する手段、およびセンタ局からの新たな設定データを受信したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段、を備えていることを特徴とするファクシミリ装置。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する分野】 この発明は、センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置に関する。

## 【0002】

【従来の技術】 複数のファクシミリ装置をセンタ局が管理するシステムにおいて、センタ局がユーザ側のファクシミリ装置に対してリモート診断を行なえるものがある。すなわち、まず、センタ局がユーザ側のファクシミリ装置に発呼し、ユーザ側のファクシミリ装置のSRAM (Static RAM) に格納されている設定データを受信する(リモート診断受信モード)。リモート診断受信モードによる受信が終了すると回線が切断される。センタ局は、受信した設定データに変更を加えたり、新たなデータを加えることにより、新たな設定データを生成する。そして、再び、センタ局はユーザ側のファクシミリ装置に発呼し、生成した新たな設定データをユーザ側のファクシミリ装置に送信して、ユーザ側のファクシミリ装置のSRAMの内容を更新させる(リモート診断送信モード)。

ド)。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】 このようリモート診断では、リモート診断受信モードによってユーザ側のファクシミリ装置の設定データがセンタ局に送られた後、リモート診断送信モードによってセンタ局からユーザ側のファクシミリ装置に新たな設定データが送られるまでの間において、ユーザ側のファクシミリ装置で通信が行なわれたり、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル等の設定データの変更、追加等が行なわれることがある。

【0004】 このような場合には、その後に、リモート診断送信モードによってセンタ局からユーザ側のファクシミリ装置に新たな設定データが送られ、送られてきた設定データがSRAMに書き込まれると、リモート診断受信モードによる通信と、リモート診断送信モードによる通信との間で行なわれた通信に対する通信結果、設定データの変更、追加等の内容が失われてしまう。

【0005】 この発明は、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した後、センタ局からの新たな設定データを受信するまでの間に、通信が行なわれたり、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル等の設定データの変更、追加等が行なわれるのを禁止できるファクシミリ装置を提供することを目的とする。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】 この発明による第1のファクシミリ装置は、センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置において、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部の操作を禁止状態にさせる手段、およびセンタ局からの新たな設定データを受信したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段を備えていることを特徴とする。

【0007】 この発明による第1のファクシミリ装置では、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した後、センタ局からの新たな設定データを受信するまでの間に、通信が行なわれたり、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル等の設定データの変更、追加等が行なわれるのが禁止される。

【0008】 この発明による第2のファクシミリ装置は、センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置において、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部の操作を禁止状態にさせるとともに、所定時間の計時を開始させる手段、センタ局からの新たな設定データを受信する前に、上記所定時間が経過したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段、および上記所定時間が経過する前に、センタ局からの新たな設定データを受信したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段を備えていることを特徴とする。

【0009】 この発明による第2のファクシミリ装置で

は、操作部の操作が禁止状態にされた後、所定時間が経過してもセンタ局からデータの送信がないときに、操作部の操作の禁止状態が解除される。

【0010】この発明による第3のファクシミリ装置は、センタ局によってリモート診断が行なわれる機能を有するファクシミリ装置において、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した直後に、操作部の操作を禁止状態にさせるとともに、所定時間の計時を開始させる手段、センタ局からの新たな設定データを受信する前に、上記所定時間が経過したときには、センタ局に設定データの送信を要求する手段、およびセンタ局からの新たな設定データを受信したときに、操作部の操作の禁止状態を解除させる手段を備えていることを特徴とする。

【0011】この発明による第3のファクシミリ装置では、操作部の操作が禁止状態にされた後、所定時間が経過してもセンタ局からデータの送信がないときには、センタ局に設定データの送信要求が行なわれる。

【0012】

【発明の実施の形態】以下、図面を参照して、この発明の実施の形態について説明する。

【0013】図1は、全体的なシステム構成を示している。

【0014】センタ局1は、複数のファクシミリ装置（端末局）4を管理する。各端末局4は、電話回線3およびセンタ局1側に設けられたファックスモデム2を介してセンタ局1に接続されている。センタ局1としては、ファクシミリ通信ソフトが搭載されたパーソナルコンピュータが用いられている。

【0015】図2は、端末局4の構成を示している。

【0016】端末局4は、CPU11によって制御される。CPU11は、そのプログラム等を記憶するROM12、画像データ、その他の必要なデータを記憶するDRAM13および各種設定内容を記憶するためのSRAM14を備えている。SRAM14は、蓄電池等によってバックアップされている。

【0017】CPU11には、原稿画像を読み取るためのスキャナ部15、受信された画像を印刷するためのプリント部16、各種の操作および設定を行なう操作部17、各種の案内を表示する表示部18、モデム19等が接続されている。モデム19には、NCU20が接続されている。NCU20は、公衆電話回線3（図1参照）が接続されている。

【0018】センタ局1が端末局4に対してリモート診断を行う場合には、まず、センタ局が端末局4にリモート診断のために発呼し、ユーザ側のファクシミリ装置のSRAM14に格納されている設定データを受信する（リモート診断受信モード）。リモート診断受信モードによる受信が終了すると回線が切断される。

【0019】センタ局1は、受信した設定データに変更

を加えたり、新たなデータを加えることにより、新たな設定データを生成する。そして、再び、センタ局1は端末局4に発呼し、生成した新たな設定データを端末局4に送信する（リモート診断送信モード）。端末局4は、受信した新たな設定データをSRAM14に書き込む。

【0020】（1）第1の実施の形態の説明

第1の実施の形態について説明する。

【0021】図3は、リモート診断時の端末局4の動作を示している。センタ局1からリモート操作のアクセスがあると（ステップ1）、センタ局1にSRAM14内の設定データが送信される（ステップ2）。

【0022】設定データが送信されると、操作部17の操作が禁止状態にされる（ステップ3）。つまり、この後において、操作部17が操作されても、操作部17からの入力は無効にされる。

【0023】回線が一旦切断された後、再度、センタ局1からのアクセスにより、センタ局1からの新たな設定データを受信すると（ステップ4）、操作部17の操作の禁止状態が解除される（ステップ5）。つまり、この後において、操作部17が操作されると、操作部17からの入力是有効なものとして取り扱われる。

【0024】上記第1の実施の形態では、リモート診断受信モードによる通信の後、リモート診断送信モードによる通信が開始されるまでは、操作部17の操作が禁止状態にされるので、この間に、端末局側で通信、設定データの変更、追加等が行なえなくなる。

【0025】（2）第2の実施の形態の説明

第2の実施の形態について説明する。

【0026】ところで、リモート診断受信モードによる通信の後、何らかの原因で、センタ局1からデータの送信が行なわれない場合がある。このような場合には、上記第1の実施の形態では、操作部17の操作禁止状態が長時間に渡って継続するといった事態が生じる。

【0027】第2の実施の形態は、リモート診断受信モードによる通信の後、何らかの原因で、センタ局1からデータの送信が行なわれない場合に、操作部17の操作禁止状態が長時間に渡って継続するといった事態が生じるのを回避するために、操作部17の操作が禁止状態にされた後、一定時間が経過してもセンタ局1からデータの送信がないときには、操作部17の操作の禁止状態を解除するものである。

【0028】図4は、リモート診断時の端末局4の動作を示している。センタ局1からリモート操作のアクセスがあると（ステップ11）、センタ局1にSRAM14内の設定データが送信される（ステップ12）。

【0029】設定データが送信されると、操作部17の操作が禁止状態にされる（ステップ13）。つまり、この後において、操作部17が操作されても、操作部17からの入力は無効にされる。

【0030】操作部17の操作が禁止状態にされると、

5

所定時間Tの計時が開始される(ステップ14)。

【0031】所定時間Tが経過する前に、センタ局1からの新たな設定データが受信されたときには(ステップ15でYES)、第1の実施の形態と同様に、操作部17の操作の禁止状態が解除される(ステップ17)。

【0032】センタ局1からの新たな設定データが受信される前に、所定時間Tが経過すると(ステップ15でNO、ステップ16でYES)、操作部17の操作の禁止状態が解除される(ステップ17)。つまり、この後において、操作部17が操作されると、操作部17からの入力は有効なものとして取り扱われる。

【0033】(3)第3の実施の形態の説明  
第3の実施の形態について説明する。

【0034】第3の実施の形態は、操作部17の操作が禁止状態にされた後、一定時間が経過してもセンタ局1からデータの送信がないときには、センタ局1にデータ送信を要求するためのメッセージを送出するものである。

【0035】図5は、リモート診断時の端末局4の動作を示している。センタ局1からリモート操作のアクセスがあると(ステップ21)、センタ局1にSRAM14内の設定データが送信される(ステップ22)。

【0036】設定データが送信されると、操作部17の操作が禁止状態にされる(ステップ23)。つまり、この後において、操作部17が操作されても、操作部17からの入力は無効にされる。

【0037】操作部17の操作が禁止状態にされると、所定時間Tの計時が開始される(ステップ24)。

【0038】センタ局1からの新たな設定データが受信されたときには(ステップ25でYES)、第1の実施の形態と同様に、操作部17の操作の禁止状態が解除される(ステップ28)。

【0039】センタ局1からの新たな設定データが受信される前に、所定時間Tが経過すると(ステップ25でNO、ステップ26でYES)、センタ局1にデータ送

6

信を要求するためのメッセージが送出される(ステップ27)。そして、ステップ24に戻り、所定時間Tの経過が開始され、ステップ25以降の処理が再度実行される。データ送信を要求するためのメッセージに基づいて、センタ局1が設定データを送信し、このデータを端末局4が受信したときには(ステップ25でYES)、操作部17の操作の禁止状態が解除される(ステップ28)。

【0040】

10 【発明の効果】この発明によれば、センタ局からのリモートアクセスによって設定データを送信した後、センタ局からの新たな設定データを受信するまでの間に、通信が行なわれたり、短縮ダイヤル、ワンタッチダイヤル等の設定データの変更、追加等が行なわれるのを禁止することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】システムの全体構成を示すブロック図である。

【図2】ファクシミリ装置の電気的構成を示すブロック図である。

20 【図3】リモート診断時の端末局4の動作を示すフローチャートである。

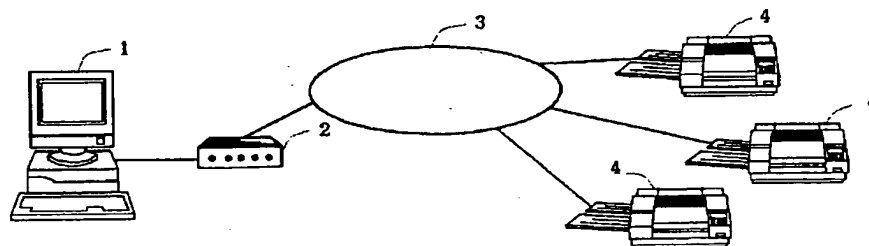
【図4】リモート診断時の端末局4の動作の他の例を示すフローチャートである。

【図5】リモート診断時の端末局4の動作のさらに他の例を示すフローチャートである。

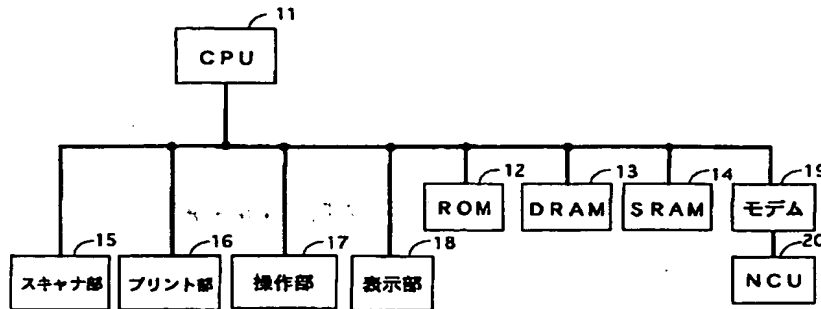
【符号の説明】

- 1 センタ局
- 2 ファックスモデム
- 3 電話回線
- 4 端末局
- 11 CPU
- 12 ROM
- 13 DRAM
- 14 SRAM
- 17 操作部

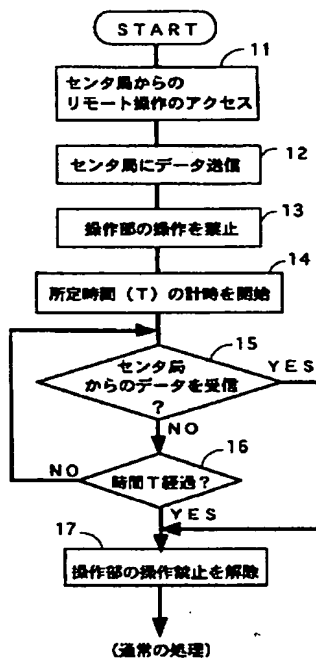
【図1】



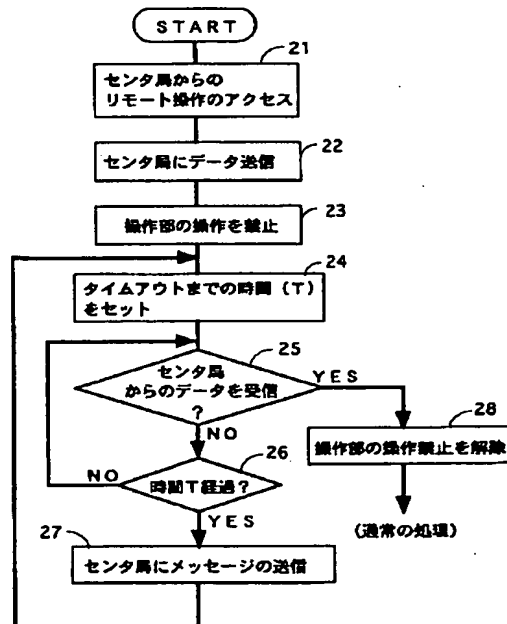
【図2】



【図4】



【図5】



フロントページの続き

(72) 発明者 森 俊浩  
大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号  
三田工業株式会社内

(72) 発明者 杉本 哲哉  
大阪府大阪市中央区玉造1丁目2番28号  
三田工業株式会社内

**THIS PAGE BLANK (USPTO)**